

あけましておめでと**ウマ**♪ 今年の干支は、熊ではなく（こちらは「去年の漢字」）、**午、馬**ですね！ 馬といえば、みなさんはどんなイメージを思い浮かべるでしょう？ 草原を疾走するあの美しい姿ではないでしょうか。馬に倣って、颯爽と駆け抜けていく年にしようではありませんか。

さて、昨年のベストブックたちを紹介します！

BOOK of 2025

『国宝』上 青春篇 下 花道篇 吉田修一 朝日新聞出版

芸術奨励文部科学大臣賞、中央公論文芸賞W受賞の大傑作を、吉沢亮 & 横浜流星W主演で映画化！ 二人が歌舞伎の女形を演じます。鬼気迫る迫真の演技と、この世ならぬ美しさが評判に。二人が本物の役者であることを証明してみせ、映画は実写映画の観客動員数日本歴代1位になり、文庫の売り上げも1位に。上下巻合わせてダブルミリオンを達成しました！

長崎の雪の正月から物語は始まります。極道の立花組の「坊っちゃん」である中学生の喜久雄は、新年会の余興で世話役の徳次と歌舞伎を演じてみせたら大ウケで、気持ちよく湯船につかっていたところ、対立する宮地組の殴り込みを受けます。立花組の親分だった父親の権五郎はこの抗争で死亡。あっという間に組は崩壊してしまいます。1年間はぐっと堪えていた喜久雄ですが、宮地組の大親分が学校の朝礼に登壇したとき、仇を討とうと衆目のなかドスを握りしめまっしぐらに突き進んだのですが、あえなく失敗。こうして、長崎にはいられなくなってしまったのを拾ってくれたのが、ヤクザものではなく、大阪の人気歌舞伎役者・花井半次郎だったのです。半次郎のもとで、喜久雄は運命の出会いをします。大垣俊介。半次郎の一人息子で、4歳から舞台に立つ梨園の御曹司。喜久雄は色白な彼の、その透き通るような肌に呆気にとられるのでした。喜久雄は俊介と一緒に稽古を受けることになります。それは、一人っ子の俊介がぼんぼんでどうも甘えがあるので、ライバルでもいなければ稽古に身が入らないのではと思い、その相手に同い年の喜久雄に白羽の矢が立たれたのです。幸い、喜久雄は俊介よりずっと練習熱心で、まんまとそのもくろみは当たるのでした…。

『変な地図』 ^{うけつ}雨穴 双葉社

本屋大賞受賞作『カフネ』に継ぐ売り上げを記録し、ビルボードジャパンの本のチャートで初の1位に！

就活に苦戦している大学生の栗原は、父親から祖母の家の処分を相談され、初めてそこを訪れることにする。祖母は彼が生まれる前に亡くなっているのだが、その死は自殺であったことをつきとめる。そして、彼女が浴室で自殺したときに持っていた正体不明の古地図を発見する。禍々しい地図だ。七体の妖怪が大きく描かれている。その下の方には漁村らしき集落が描かれていて、その境に同じ形の物体が家よりも多くあって、物体にはすべて、三日月のマークのようなものが見える。石碑、あるいは墓石だろうか。その上には湖があり、その向こうに三角屋根の建物。そこから歩く女性の後ろ姿があって、妖怪たちの棲んでいる山へと向かっているのだ。栗原が5歳のときにこの世を去った大好きな母は、死の直前までこの地図について調べていたようだ。母を突き動かしていたのは何だったのか。知りたい。「一度興味を持ったら、調べずにはいられない」彼は、一週間後に迫った就活の二次試験をタイムリミットに、地図に描かれたR県の河蒼湖集落跡地へとひとり向かった…。

『僕には鳥の言葉がわかる』 鈴木俊貴 小学館

書店員が選ぶノンフィクション大賞、新潮ドキュメント賞、河合隼雄学芸賞の3冠受賞！ 言葉を持つのは人間だけであり、鳥は感情で鳴いているとしか認識されていなかった「常識」を覆し、「シジュウカラが20以上の単語を組み合わせて文を作っている」ことを世界で初めて解明した研究者による科学エッセイ！

動物が大好きだった著者は、高校生のときに双眼鏡を買って、野鳥の世界に魅了されます。「学者になれば、一生好きな動物の観察をして過ごしていけるかもしれない」と鳥の研究ができる大学へと進学し、研究者をめざすことにしました。研究者にとって最も大切なのは、「何を対象にどんな研究をするのか」ですが、それがまだ決まらない彼は週末必ず野鳥の観察に出かけていました。そして、大学3年の冬、運命の出会いをするのです。真冬の軽井沢。鳥の群れの中で観察をしていると、コガラの鳴き声がする。すると、ほかの鳥たちがコガラのほうへと向かう。なんと、そこにはヒマワリの種があったのです。「仲間を呼ぶために鳴いていたんだ！」シジュウカラで実験してみたところ、同じように仲間を呼ぶために鳴いているように見えます。そして敵が近づいたときには、まったく別の鳴き声で仲間に知らせたように思えたのです。これはものすごいことではないか…。

『^{じゆくし}熟柿』 佐藤正午 KADOKAWA

中央公論文芸賞&「本の雑誌が選ぶ 2025 年度上半期ベスト 10」
第 1 位！

タイトルの熟柿とは、「熟した柿の実が自然に落ちるのを待つように、気長に時期が来るのを待つこと」。伯母の葬儀は、彼女がみんなの嫌われ者だったのと、かおりがおめでただったのとで、しみりとした空気はまったくなく、たちまち宴会へと変わってしまった。警察官の夫が酔い潰れていたのも、雨のなかをかおりが運転していると、不注意で老婆を轢いてしまう。夫は気づいていないようだ。かおりはドアを開けて確かめることもなく、走り去ってしまうのだった。懲役は 3 年だった。刑務所で男の子を産み、すぐに取りあげられた。まったく面会に来ない夫は、写真の 1 枚もかおりに与えようとしなかった。出所の日、夫に離婚届を突きつけられ、言いなりにハンコを押した。夫は、「母親が犯罪者の子供と、母親に死なれた子供と、どっちがより不幸か、考えてみろ。これから子供が成長して、社会に出て生きていくうえで、どっちが彼の障害になると思うか、よく考えてみろ」と言っていた。夫も職を失っているのだ。かおりは、自分で産んだ子供と会うことのできない母親となった。「わたしは自分が産んだ子供の顔を見たい」。その願いが叶えられるためには、長い長い時間が必要とされる…。

『あこのろの僕は』 小池水音 集英社

河合隼雄物語賞受賞作！ 次作の『あなたの名』も大傑作です！

5 歳で母を病で喪った僕は、4 つの家を行き来して幼稚園に通うことになったけれど、誰もがやさしく、愛情をたっぷりと注がれて育った。2 学期にイギリスから転入生がやってきた。さりかちゃん。僕は彼女が僕みたいだと感じていた。つぎからつぎへと差し出されるたくさんの親切を、関心を、この女の子もまた抱えきれずにいるのではないかと思ったのだ。ふだん彼女が見せることのない満面の笑みを僕に見せてくれてから、二人は仲良しになった。さりかちゃんの部屋に入り浸るようになった。さりかちゃんは R P G に夢中になっていて、僕は彼女がプレイするのをいつも見ていた。ゲームのことを知り尽くして、たちまち攻略していく彼女に憧れた。誕生日のプレゼントには、同じゲームを買ってもらった。夢中になって彼女の後を追いかけていたある日、さりかちゃんは驚くべき宣言をした。このゲームをクリアしたら、もうゲームをやめるの。いっさいのゲームをやめて、二人でお勉強をするのだそうだ。お勉強をして、いっしょに大学生になって、学者になり、イギリスへ帰る。それが彼女の夢だというのだ。

『天使も踏むを畏れるところ』上下 ^{まついえ まさし} 松家仁之 新潮社

「中学生の頃から建築には関心がありました。建築との出会いをさらにさかのぼれば、小学生のときいちばん好きだった場所が、校庭の隅に建っていた木造平屋の図書館だったんですね。なかには壁の三方がすべて書棚、本の匂いが漂っていて、大きなテーブルも椅子もすべて木製でした。あんなに居心地のいい場所はなかった」（著者談）。

敗戦の年の空襲で、皇居内の明治宮殿が焼失しました。その後は、あらゆる儀式が宮内庁庁舎内の仮施設で行われたという事実をご存知でしょうか？「新宮殿」の建設は、長年の懸案事項でしたが、なかなか動き出さなかったのは、昭和天皇ご自身のご意向であったようです。「国民の暮らしが安定するまで宮殿など建てられない」。ようやくプロジェクトが動き出したのは、日本経済が復興したことと、皇太子と初の民間出身の美智子妃とのご成婚で空気が変わったからでした。すでに敗戦から 15 年が経っていました。チーフアーキテクトに選ばれたのは、村井俊輔。デビュー作『火山のふもとで』の主人公の「先生」です。先生が携わった大きな仕事とその背景が上下巻たつぷりとページを使って書かれ、去年、13 年ぶりに文庫化されたデビュー作へとつながっていくのです。村井は、「象徴天皇」、新しい日本にふさわしい、開かれた宮殿のあり方を、過去の好ましい建築物を参照しながら、模索していくのですが…。大傑作！

『独断と偏見』 二宮和也 集英社

あのニノが書いた新書が、年間ランキングで 11 冠を達成！

「再三言っていますが、僕は自分に興味がないんですよ」。「僕自身は自分を振り返るという作業をこれまでに一度もしたことがないんです」というニノが、毎月一つずつ四字熟語（「温故知新」、「適材適所」など）をテーマに 10 ずつの問いに回答し、100 の Q & A がまとめられた新書です。そのような造りの本であるため、ニノの本音が加工されずにそのまんま出ており、読み通してみると、ニノのことがよくわかった気がする本になっています。ずばり「二宮和也」の定義とは、「すごく面白い商材」なのだそうです。野球のドラフトで言うと、一位指名を二、三球団からもらうんじゃなくて、二位指名を全球団からもらえる人間でありたいのだそうです。「あらゆる現場で『二宮がいたら』っと思ってもらえる瞬間が生まれてくることが夢」なのだそう。う～ん、とってもニノらしいと思いませんか？

————— 今年もよろしくお願いいたします。では、図書館で。